

令和元年度言語文化生涯学習講座 異文化圏から見た日本の姿

令和2年3月2日(月)～5日(木)
18:00～19:30

県立広島大学庄原キャンパス2502講義室
興味のある方は、どなたでも参加できます。

参加された方には、**修了証**を交付します。(受講料 **1,000円**)

近年、多くの人々が国境を越え、急速にグローバル化が進んでいます。JTB総合研究所によると、2018年に海外を訪れた日本人は約1,900万人、日本を訪れた外国人は約3,100万人にのぼります。東京オリンピックの開催を間近に控え、異文化圏の人々との交流機会は一層増えるものと思われます。この講座では、異文化圏の人々の目に映る日本・日本人の姿を、時代・国境を越えて捉え直します。

世界の言語



内容

- 1 明治期の来日外国人の見た日本の姿
教授 馬本 勉
- 2 150年前の留学生：ジョエットのナイチンゲール宛書簡から
准教授 大草 輝政
- 3 モンゴルのメディアに現れる日本
准教授 河村 和也
- 4 台湾の新聞に登場する日本
准教授 上水流 久彦

お申し込み

2020(令和2)年2月26日(水)まで

- 1 本学ホームページ(下記のURL又はQRコード)から「申込フォーム」に入力してお申込みください。
- 2 また郵送での申し込みをされる場合は、参加申込書に必要事項を記入し、郵送してください。



URL: <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=422>

-----切り取り線-----

お名前(ふりがな)	
参加希望日	<input type="checkbox"/> 全日程 <input type="checkbox"/> 第1回 <input type="checkbox"/> 第2回 <input type="checkbox"/> 第3回 <input type="checkbox"/> 第4回 (希望日にチェックをお願いします)
住所	〒
電話	() - 日中の連絡先:
所属	
その他	

※ ご記入いただいた個人情報は、本学が開催する公開講座等の検討、開催のご案内にのみ使用し、それ以外の目的には使用しません。

申込先: 〒727-0023 庄原市七塚町5562
TEL: (0824) 74-1000
FAX: (0824) 74-1704
E-mail: gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp

県立広島大学庄原地域連携センター

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

【 講 座 内 容 】

1	明治期の来日外国人の見た日本の姿（3月2日）	教授 馬本 勉
<p>開国後の日本には諸外国から様々な文化や学問が持ち込まれ、近代化が進んでいきます。明治期には商人、宣教師、教師をはじめ、記者や研究者など、日本を訪れる外国人も増加します。その中には、日本を訪れた見聞記を遺した人々もあります。そうした記録の中からは、異文化圏の人々に日本の姿がどう映っていたかを探ってみたいと思います。</p>		
2	150年前の留学生：ジョエットのナイチンゲール宛書簡から（3月3日）	准教授 大草 輝政
<p>手紙を読んでみたいと思います。差出人はBenjamin Jowett（1817-1893、神学者・古典学者）、宛名はかの有名なFlorence Nightingale（1820-1910）です。二人の文通はJowettの死まで30年余り続くものでした。本講座ではそのなかから、オックスフォード大学が日本人留学生を受け入れ始めた最初期の様子を伝える一節をとりあげます。</p>		
3	モンゴルのメディアに現れる日本（3月4日）	准教授 河村 和也
<p>モンゴルで日本の大相撲が同時中継されていることをご存じの方はいらっしゃいますか。モンゴルの新聞やテレビで日本がどのように紹介されているのかを見てみましょう。また、モンゴルの教科書に登場する日本人のことも扱ってみたいと思います。</p>		
4	台湾の新聞に登場する日本（3月5日）	准教授 上水流 久彦
<p>台湾の新聞に登場する「日本」というテーマで、現地の新聞を題材に、日本、もしくは日本のある出来事や事件がどう理解されているかを紹介します。他者の目から日本をながめてみましょう。</p>		



【開催場所】

県立広島大学庄原キャンパス 2号館 5階
2502講義室（※ 黄色網掛け場所）

※大学のスクールバスが**無料**でご利用
できます。
大学HPへ時刻表を掲載しております。
ご確認のうえ、ぜひご利用ください。

